

高齢者の安全な嚥下を支える 「AIによる最適姿勢アドバイス」アプリの開発

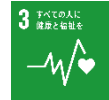
～誤嚥リスクと姿勢の関係の分析～

工学部 電気電子情報工学科

◎B4 えんどう あおい 遠藤 碧、准教授 やぎ なおみ 八木 直美、教授 こばし しょうじ 小橋 昌司

キーワード

誤嚥リスク, 座位姿勢, 定量的な予測, 機械学習モデル構築, 健康維持



研究概要

【本研究の目的】

- ・加齢に伴い飲み込みが難しくなること（誤嚥）が多い＝誤嚥性肺炎の原因
- 誤嚥を予防できる適切な姿勢指導を簡単にできるようにしたい

死因第6位

【現在の課題（ペイン）】

現在の誤嚥リスク評価

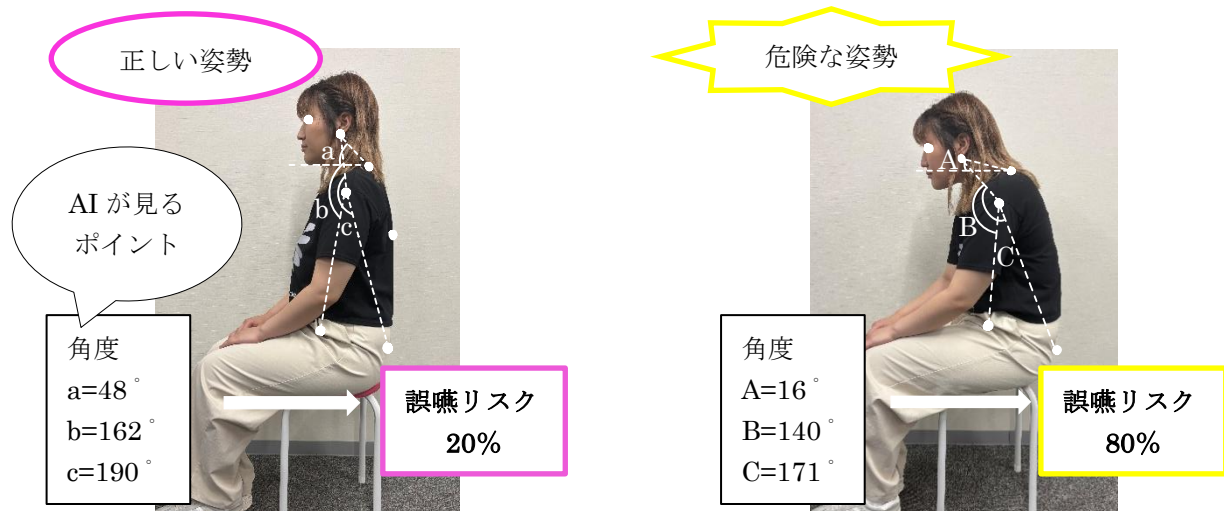
- ・X線検査（被ばくあり）
- ・高コストな検査
- ・医者や専門家による主観的な予測

【本研究の提案（ソリューション）】

本研究による誤嚥リスク評価

- ・リスク予測による健康被害なし
- ・自宅での簡易検査
- ・AIによる「誤嚥リスク」の数値化

【研究成果】AIによる誤嚥リスク評価方法



アピールポイント

- ・簡単で安全な誰でも使える誤嚥リスク予測手法を提案
- ・医療現場での負担軽減と医療費削減に貢献
- ・AIによる客観的な評価に基づいたリハビリテーションと治療方針の確立
- ・座位姿勢と嚥下機能に関する新たな知見を提供。
- ・介護現場や在宅での誤嚥予防が可能